

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

## 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2020年  
Vol.37

# ほっとタイムズ



病院長メッセージ  
「外来医療の現状」

教えてドクターQ&A  
下肢静脈瘤について

写真：当院で活躍する臨床工学技士



### 特集

『医療をささえるスタッフ 臨床工学技術科』…2～4

はじめまして！新入職員のご紹介 …… 6

副病院長 山本 順司

ドクター紹介 …… 6

腎臓内科 医長 臼井 俊明

当院で活躍する認定看護師 …… 6

がん性疼痛看護認定看護師 鯉沼とも子

トピックス …… 7

院内レストランがリニューアルオープンしました！！  
がん患者さん向け ～デイケアサロンのご案内～

連携医療機関のご紹介 …… 8～9

井上医院／神賀歯科医院  
いばらき診療所みと／田澤歯科医院

地域連携だより 各診療科のご紹介 …… 10

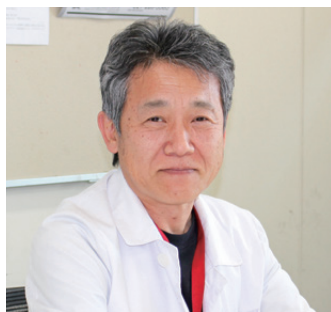
遺伝子診療部

医療費あと払いサービスのご案内・職員募集 …12

医療を  
ささえる  
スタッフ

# 臨床工学技術科

現代の医療は高度な医療機器がなければ成り立ちません。臨床工学技士は高度な医療機器の操作・管理を行う病院内のエンジニアです。医学の進歩に伴い、高度化・複雑化している医療機器に対応できる専門家として最先端の医療機器を使いこなし、機器の先にある「いのち」と日々向き合っています。今号ではまさに“いのちのエンジニア”臨床工学技士の仕事について、一部ご紹介いたします。



臨床工学技術科科长 兼  
臨床検査技術科 科長  
の が み た つ や  
野上 達也

臨床工学技士は縁の下の力持ちですが、現在の医療に必要不可欠な医療機器のスペシャリストです。今後、益々増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手として、“医学”と“工学”の両方の知識を持った臨床工学技士の活躍が期待されています。

当院の臨床工学技術科は設置されたのが比較的新しく、平成16年4月に2名の工学士の新規採用から始まりました。最初は臨床検査科（当時）に配属されましたが、平成18年、19年に1名ずつ採用し合計4名になり、念願の臨床工学技術科として独立しました。その後、透析センターが開設された平成20年度に現在の体制が整い、人員も揃って現在は15名（科長を除く）となっています。確かな技術を持ったスタッフ達です、これからもよろしくお願いいたします。



## 機器管理業務

人工呼吸器を始め、バックバルブマスク、輸液ポンプやシリンジポンプなどのポンプ類、除細動器、AED、麻酔器、閉鎖式保育器など病院では様々な医療機器が使われています。各医療機器の始業・使用後の点検や定期点検、使用中の点検を行い医療機器が適切に使用され、安全な治療が提供出来るよう管理を行っています。



## 人工心肺業務

心臓の弁置換術、急性大動脈解離などの心臓や大血管の手術中に患者さんの生命を維持するための心臓と肺の代わりをする人工心肺装置や自己血回収装置の準備、操作、管理をしています。





## 心臓カテーテル業務

血管造影検査や血管内治療時の循環動態のモニタリングや記録、各種診断装置（IVUS・FFR・OCTなど）の操作など治療する医師がスムーズに行えるようお手伝いを行っています。循環動態が不安定である場合には、経皮的心肺補助装置（PCPS）・大動脈バルーンパンピング装置（IABP）や体外式ペースメーカーなどの心臓を助ける装置を使用することもあり、それらの準備・操作も行っています。



## ペースメーカー関連業務

プログラマーと呼ばれる専用の装置で、患者さんに植え込まれているペースメーカーの外側から電波で交信して、ペースメーカーが適切に働いているかの確認や設定の変更を行っています。また、遠隔モニタリング機能が付いているものがあり、患者さんが自宅にいながらペースメーカーの情報を確認しています。また、ペースメーカーの植え込み・交換手術への立ち会いも行っています。



## 透析・血液浄化業務

人工透析とは、腎臓の機能を人工的に代替する医療行為のひとつですが、臨床工学技士は透析装置や透析液の準備・管理から、ベッドサイドでの血圧測定や穿刺、また治療開始とともに、治療中はバイタルサインのモニタリングや治療終了後の返血をするなど患者さんの治療に深く関わっています。また、在宅透析（※）のトレーニングも担当しています。更に、ICUやCCUなどの重要度の高い病棟では幅広い血液浄化に対し24時間体制で対応しております。

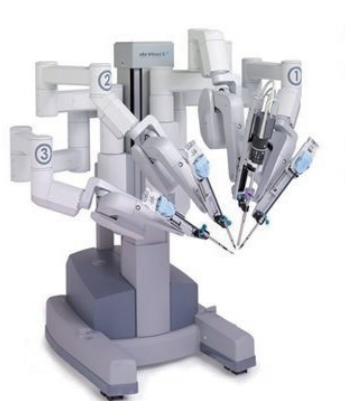
（※）在宅透析とは自宅に透析装置を設置し、自分自身（まれに家人などの介助者の助けを借りて）で装置管理・操作、血管への穿刺をおこない透析をする。

## アブレーション業務

心房細動や発作性上室頻拍、心室頻拍まで多くの不整脈電気生理検査や治療に対して関わっています。臨床業務では不整脈ラボシステムで体表面心電図及び心腔内に配置した電極カテーテルから得られる心内心電図の計測や解析、3Dマッピングシステムを用いた治療戦略のサポート、心臓電気刺激装置や高周波発生装置（アブレータ機器）の操作を行っています。

## 手術支援ロボット業務

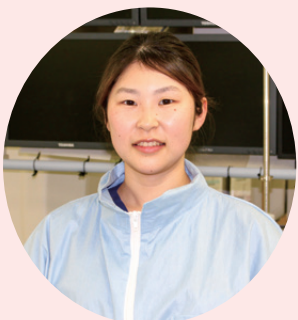
手術支援ロボット（ダヴィンチ）を使用した、泌尿器科、呼吸器外科、婦人科の手術のチームメンバーとしても参加しており、手術支援ロボット（ダヴィンチ）の準備、配線、手術時の装置の移動や周辺機器の操作、片付け、定期的なメンテナンスやトラブル対応を行っています。



## ラジオ波焼灼療法（RFA）業務

消化器内科のラジオ波焼灼療法（※）に使用するラジオ波焼灼装置の準備、操作、モニタリング、片付けを行っています。

（※）腫瘍に穿刺した針を通して高周波を発生し、熱により腫瘍を死滅させる治療法。



### 当院で活躍する 臨床工学技士の

こばやし あやか  
**小林 礼佳さんに聞きました！**



**Q. なぜ臨床工学技士になろうと思ったのですか。**

**A.** 医学、工学に興味があり、この2つを活かせる仕事が臨床工学技士だったからです。

**Q. 臨床工学技士として大変なことはありますか。**

**A.** 生命維持管理装置の操作や管理を24時間体制で行っていることと、新しい医療機器が次々と出てくるので、常に最新の知識が必要とされることです。なので日々勉強は欠かせません。

**Q. 臨床工学技士として働く上でのやりがいを教えてください。**

**A.** 患者さんの命を支えるために働くことができることです。これからも、患者さんが安全で安心して治療を受けていただけるように、医療機器を通じて最良の医療サービスの提供ができればと思っています。

**Q. 最後に読者の方へメッセージをお願いします。**

**A.** 臨床工学技士の知名度はまだまだ低いので、この機会にどんな業務を行っているか知っていただけると嬉しいです。

# その足、放っておいて 本当に大丈夫？

教えてドクター

Q&A

## 下肢静脈瘤について

### Q：下肢静脈瘤とはどんな病気ですか？

**A：**足の表面を走行している血管（静脈）に血液が逆流する病気です。そのため血管がコブ（瘤）のように膨らみます。足の見た目が非常に悪くなり、様々な症状を引き起こします。日本人の約10人に1人が下肢静脈瘤であると報告されており、出産経験のある成人女性の2人に1人が発症するとも言われています。両親が静脈瘤だと90%遺伝するとも言われています。



### Q：下肢静脈瘤の原因はなんですか？

**A：**静脈には、血液の逆流を防ぐための弁が生まれた時から備わっています。この静脈の弁が壊れると、血液が足に逆流してしまい、足に血液が溜まることで下肢静脈瘤を発症します。静脈弁が壊れる原因として、長時間の立ち仕事、肥満、衣類による圧迫、妊娠等の様々な要因が指摘されています。

### Q：どのような症状がでるのでしょうか。

**A：**足の血管がボコボコ浮き出て見た目が悪くなり、足のだるさ・むくみ・こむら返り（足のつり）・かゆみ等の症状を引き起こします。さらに悪化すると、足に色素沈着（茶色っぽい色素が皮膚に沈着）や潰瘍が出現し、皮膚が硬くなってしまいます。ここまで進行すると治療に難渋します。

### Q：病院に行くタイミングを教えてください。

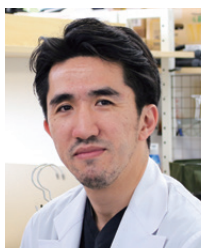
**A：**まずは足の血管がボコボコ膨らんで目立つようになったら受診して下さい。それに伴って上記の何かしらの症状を伴えば手術のタイミングです。

### Q：どのような治療法がありますか？

**A：**基本的に、①弾性ストッキングによる圧迫治療、②硬化療法、③ストリッピング手術、④血管内焼灼術の4種類があります。手術を希望されるのであれば、血管内焼灼術が最も効果的で負担が少ない方法です。局所麻酔で施行可能であり、片足10-20分で手術は終了し、術後すぐに歩行可能で仕事復帰もできます。ガイドラインでも最も推奨されている方法です。

### Q：下肢静脈瘤にならないための予防法はありますか。

**A：**残念ながら明確な予防法はありません。すでに下肢静脈瘤の患者様は、窮屈な下着やハイヒールを履くと静脈瘤を悪化させますので注意してください。



根本先生から  
ひとこと

血管外科 医長

ねもと まさる

根本 卓 先生

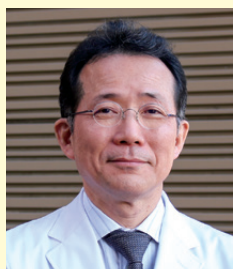
下肢静脈瘤は皆様が想像するよりもずっと身近な病気です。静脈瘤を放置して足の見た目が悪くなり、スカートが履くことが嫌になっている患者様が多くいらっしゃいます。男女問わず、気になるようなら遠慮なく受診して下さい。綺麗で元氣な足を取り戻しましょう！





# はじめまして!

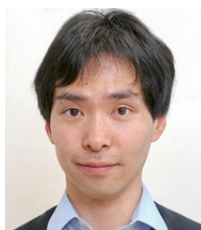
## 新入職員のご紹介



副病院長  
やまもと じゅんじ  
**山本 順司**

2月に着任致しました山本順司です。私は、吉見副病院長の2年後輩で、専門は消化器外科・肝胆膵外科です。生まれは宮崎県の延岡市ですが、19才で東京にでてきましたので、方言はいくつか覚えています、イントネーションはまったく忘れてしまいました。昨年、小学校の同窓会に出席しましたが、50年以上経っても、顔を見ただけで名前を思い出す人も多く、なにより延岡弁が飛び交う会話に懐かしさもひとしおでした。県立中央病院には、卒業後1年3か月間大学で外科研修を受けた後に、今の制度でいう後期研修医として、当時の外科で3年1か月間、小泉先生、吉見先生、石丸先生、洲之内先生に薫陶を受けました。大学に帰ってからは、学位をとったり、結婚して子供を5人授かったりといういろいろなことがあり、施設も5つを渡り歩き、このたびご縁をいただいて当院に戻ってまいりました。水戸保健医療圏を中心に茨城県の医療に貢献したく努力する所存です。皆様のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

## ドクター紹介



腎臓内科 医長  
うすい としあき  
**白井 俊明**

2018年4月より当院に赴任して参りました。生まれも育ちも茨城県で、地元の医療に携わらせていただく機会を頂き、大変光栄に思います。専門は腎臓内科で、尿検査異常や腎機能障害のある患者さんの腎機能悪化を防ぐ診療を中心として、人工透析の患者さんたちの診療も行っております。腎臓病は薬の治療だけでは、十分に良くする事が難しく、管理栄養士による栄養指導、糖尿病専門看護師の生活指導も含め、多職種介入での治療を行っています。今後も、これまで育てていただいた茨城の医療に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

## ● 当院で活躍する認定看護師 ●

がん性疼痛看護  
認定看護師

こいぬま  
**鯉沼 とも子**



左から看護師の坂下CN、鯉沼CN、前田CN

緩和ケアセンターのジェネラルマネージャーとして役割を担い、緩和ケアチームとしても日々活動しています。「苦痛のスクリーニング」でハイリスクと判定した患者様のもとへ伺い、お話をお聞きして苦痛緩和のお手伝いをさせていただいています。また、外来診療や面談同席、コンサルテーションを受け横断的活動をしています。

“疼痛ゼロでスマイル”をスローガンに掲げ、患者様が笑顔を取り戻せたとき、「良かったですね」と声かける私自身も笑顔になれます。日々活動していく私の元気の源は、患者様からの笑顔や声掛けに元気をいただいていると感じます。私自身も患者様に支えていただいていると感じ、感謝の気持ちを忘れず関わっていこうと思っています。

## 院内レストランがリニューアルオープンしました!!

2020年2月5日に院内レストランがリニューアルオープンいたしました。明るく開放的な店内はランチのご利用だけでなく、ちょっとした空き時間や休憩など、ぜひ、おくつろぎの場としてご利用ください。

営業時間 月～金 11:00～14:00



日替わりランチ、麺類やおにぎり、サラダなど多彩なメニューを取り揃えております。

当レストランでは、日替わりランチ、麺類、単品のアラカルトや月に一度のフェアメニューなど、お客様に飽きのこない献立作成を心がけ、料理の提供をおこなっております。スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。



明るい店内。車いすでも利用しやすいようカウンター席も充実しています

レストラン主任  
笹嶋



## がん患者さん向け

### ～デイケアサロンのご案内～

がん患者さんの居場所づくりと社会復帰やQOL（生活の質の向上）の支援を目的に、当院では「デイケアサロン」を開催しています。対象はがん患者さんおよびそのご家族です。また、当院以外のがん患者さんもお利用いただけます。

がん治療で体力が落ちやすく、家に閉じこもりがちな患者さんが気軽にきて、自由にお過ごしいただけるよう、リラックスできる空間づくりに努めています。また、緩和ケア認定看護師等も常駐しているので、病気や生活のことについても気軽に相談できるので安心です。

ゆっくりとお茶をしながら趣味活動をしたり、気の合う仲間と交流したり、また専門の看護師に話を聞いてもらったりと個々がお好きにお過ごしいただけます。「ひとりでいるのは心細い」「仕事や趣味を再開したいけれど、体力に自信がない」「気軽に気分転換したい」などございましたら、ぜひお気軽にお越しください。



がんなどの認定看護師が常駐しているので安心です。

### ～開催についてのご案内～

- 毎週水曜日9時30分～15時30分  
(入退室自由)
- 茨城県立中央病院 緩和ケア病棟デイルーム
- 事前予約不要、参加費無料

くつろいだ雰囲気の中で自由にお過ごしください。



お問い合わせ

茨城県立中央病院緩和ケア病棟もしくはデイケア担当  
0296-77-1121（代表）

かかりつけ医を  
持ちましょう

# 連携医療機関のご紹介

## 井上医院

院長 井上 幸一

平成7年に水戸西原に診療所を開設、25年になります。専門は循環器内科ですが、地域のかかりつけ医として風邪、高血圧、高脂血症、喘息、胃潰瘍、肝臓病、腰痛、痛風、認知症など広く一般診療を行ってまいりました。

重篤な患者さんは県立中央病院など高度先進医療の病院に紹介しています。

日常生活には生活習慣や遺伝因子、感染症など健康を損なう要素が多くあり、それらを治療・是正することで高齢になっても元気で長生きできる医療を目指しています。



■所在地：水戸市西原2-17-32

■診療受付時間：午前9:00～12:00、午後14:00～18:00

■電話：029-251-6581

■休診日：水曜日、日曜日、祝祭日

■診療科：内科、循環器科、消化器科、放射線科、痛風外来

## いばらき診療所みと

院長 西村 嘉裕

当院は通院困難や寝たきりの方、在宅での治療を希望される患者さんに、医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーが協力して、ご自宅での診療を行っています。年齢は問わず、在宅医療を受けている患者さんは24時間365日、いつでも診療を受けることができます。「住み慣れた家で、最期まで良い生活をしていただきたい」、「在宅での看取りは最高の緩和ケア」と在宅で治療を行い、在宅での看取りを行っています。昨年は77名（老衰の患者さん30名、がん終末期の患者さん26名）の患者さんを在宅で看取りました。今年も一人でも多くの患者さんご家族に笑顔になっていただけるように、スタッフ一同頑張っています。



■所在地：水戸市五軒町1-3-34

■電話：029-228-6100

■在宅医療を行っています。お電話でご相談ください。

■診療受付時間：午前9:00～午後12:00  
午後13:00～午後17:00

■休診日：土・日曜日、祝祭日



ここでは患者さんやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

## 神賀歯科医院

院長 神賀 利典

当院では、お口の中からお体全体の健康を願って地域の皆様に歯科医療活動を行い、先代から数えると73年余りになりました。これからも地域医療活動に貢献が出来ればと思い、日々歯科医療技術の研鑽に努めています。お口の中も見た目もきれいに、また噛み合わせもいい、そして体全体のバランスも考えたお口の管理を患者さんと一緒に考えていきたいと思っています。患者さんとの良きパートナーでありたいと思っています。

治療に使う器具は患者さん一人ひとりに滅菌を施したもの、使い捨ての器具を使用して感染予防に努めています。またHOCL電解水で歯科ユニット、うがい水、タービン、スプレーから出る水も無菌の状態にして診療しています。



- 所在地：久慈郡大子町頃藤5115番地 ■診療受付時間：午前 9:00～12:00  
(JR水郡線上小川駅より徒歩4～5分) 午後14:00～17:30 (土曜日13:00～15:30)  
■電話：0295-74-0012 ■休診日：日曜日、水曜日、祝祭日

## 田澤歯科医院

院長 田澤 重伸

当院は水戸市のJR赤塚駅南口徒歩3分にある歯科医院です。当院は3代目の現院長が平成11年9月に当地にて新たに開院し、20年余りが経過しました。また副院長が女性歯科医師という事もあり、小さなお子さまからご年配の方まで、あらゆる年代の方が安心して通うことができ、アットホームで地域に貢献できる歯科医院を目標に診療して参りました。

歯の治療に関しては、多くの方が怖いイメージをお持ちかと思いますが、そのイメージを払拭できるよう十分な説明をし、納得して頂いてから処置をさせて頂いております。

茨城県立中央病院とは地域医療で医科歯科連携協力医として携わっております。

これからも皆様の良きホームドクターとなりますようスタッフ一同努力し、よりよい歯科医院を目指して参ります。



- 所在地：水戸市姫子2-352-18 ■診療受付時間：午前 9:00～12:30  
■電話：029-257-3533 午後14:30～18:30 (土曜日17:00まで)  
■休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

# 地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましては常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 各診療科のご紹介



### 遺伝子診療部

遺伝子診療部 部長 兼  
小児科 部長

さいとう  
齋藤

まこと  
誠

遺伝と聞くと親子・兄弟でお顔が似ている、体質が似ているということの思い浮かべるのではないかと思います。遺伝にはもう一つ「ちょっと異なる」という意味があり、個人個人で顔立ちが異なること、ある病気になりやすい体質も遺伝に含まれます。

遺伝子診療部は茨城県立中央病院に2016年4月に開設され、臨床遺伝専門医2名(1名は産婦人科でNIPTを担当)と認定遺伝カウンセラー2名(1名は非常勤)で診療しております。この両方で遺伝医療を行なっている施設は、現在の茨城県内では当院と筑波大学附属病院の2カ所です。主な業務は遺伝カウンセリング(遺伝教育を含む)およびがんゲノム医療での対応です。

#### ●遺伝カウンセリング●

患者さんへ疾患などの情報提供を行い、その方の考えを尊重し自分自身で意思決定できるように支援します。必要に応じて患者さんのご家族にも同様の支援を行います。また、遺伝性疾患の診断や治療などに関し、院内外で専門の診療科の先生に助言をしております。遺伝に関する疑問や不安を軽減し、遺伝の病気であってもその人らしく歩めるように患者さんとそのご家族へ遺伝カウンセリングを通して支援しております。主に遺伝性のがんを対象としていますが、産婦人科の非侵襲的出生前検査(NIPT)、代謝性疾患、神経変性疾患など遺伝が関わる疾患ほぼ全てに関っております。

#### ●がんゲノム医療●

適した薬剤を見つけることを主とし、遺伝するかどうかは二次的です。近年は臨床遺伝学の進歩により、臨床の現場でも遺伝学的な検査が身近になってきています。特にがん診療の分野での進歩は目覚ましく、個人の遺伝的な要因を調べ、抗がん剤の適応を決めることが、すでに保険診療になっております。また難治性のがんや標準治療のない珍しいがんに対して、がん細胞の遺伝子を調べ、そのがん細胞に効果が期待できる薬剤を見つける「がんゲノム医療」も、昨年6月から保険診療となっております。



エキスパートパネル開催時の風景

### — 第20回 —

## 「外来医療の現状」

茨城県立中央病院  
茨城県地域がんセンター

よし かわ ひろ ゆき  
病院長 吉川 裕之



国や県が主導となり、2020-2023年度の期間で、診療所の医師や医療機器の偏在について調査が行われます。茨城県内の外来患者数は1日12万人おり、そのうちの70-80%の方が診療所を受診しています。現状として、病院と有床診療所は減少していますが、無床診療所は増加しています。

昨今の医師不足や医師の偏在については全国的にも問題となっておりますが、外来医療においても、茨城県は医師不足となっており、水戸やつくばの医療圏でも全国平均を下回っています。また、今後さらに必要になると予想される在宅医療（訪問診療・往診）も少なく、こちらの改革も必要となっています。それと同時に訪問看護ステーションの充実をはかることも重要となってくるでしょう。現在、二次・三次救急医療機関では軽症患者の増加が問題になってきていますが、そのために在宅医療提供体制の強化が必要なのです。

それから、地域医療支援病院では、医療機器を周囲の診療所の先生と共同利用することが求められております。医療機器共同利用とは、地域医療機関の先生方からの依頼で、「検査のみ」を必要としている患者さんに当院の検査機器を活用していただくシステムですが、茨城県立中央病院では、CT、MRI、PET、胃や大腸の内視鏡検査など、年に2000件以上ご利用いただいています。医療機器の共同利用については、まだ不十分な地域医療支援病院も多いので、医療機器の有効利用のためにも改革が進んでいくことが期待されています。

現在、病床数が200以上の病院では、紹介状のない患者さんが受診した場合、保険適用の診療費とは別に選定療養費の徴収が義務づけられております。これは「初期の治療は地域の医院・診療所などで、高度・専門医療は病院（200床以上）で行う」という医療機関の機能分担を目的に厚生労働省により制定されました。適切な医療を提供するために、外来医療を診療所と大病院で役割分担することが求められており、これを推進するためにも医療機器の共同利用は重要と考えています。

このように、限りある医療資源を効率的かつ効果的に提供するためには外来医療の機能の分担および地域医療連携の強化は欠かせません。外来医療の現状を知っていただくとともに、課題に必要な対策について、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





# 茨城県立中央病院「医療費あと払いサービスのご案内」

会計の待ち時間をゼロに！

## 待たずに ラクへだ



診察が終わったら少しでも早く帰りたい…

「待たずにラクへだ」は、医療費を後払いにすることで、  
会計を待たずにすぐにお帰りいただけるサービスです。

登録 &  
利用料  
無料

### 登録

#### ラクへだ

下記ご利用登録  
サイトで、診察券番号や  
お手持ちのクレジットカード  
情報を登録するだけ。  
(初回のみ)

### 通院

#### ラクへだ

会計待ちがないので、  
お身体への負担や、  
付き添う方の  
待ち時間も軽減。

### 支払い

#### ラクへだ

かかった医療費は  
後日メールでお知らせ。  
お支払いは  
クレジットカードで安心。

クレジットカードは  
5大国際ブランドに  
対応しています。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。

診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。



待たずにラクへだ ご利用登録サイト

<https://s2.medicalpay.jp/ibaraki/new/>



(問い合わせ窓口) 茨城県立中央病院 医事課 TEL0296-77-1121(代表) 平日9:00~17:00

会計年度任用職員

## ドクターズ・クラーク(医師事務作業補助者)の募集

募集人員：5名程度

雇用期間：採用から2021年3月31日まで

契約更新有り(条件有り)

業務内容：医師が行う事務作業の補助をする業務です。

電子カルテへの診察記録の代行入力

診察に関するデータの抽出、作成

各種保険の診断書や証明書などの作成代行

カンファレンスの準備及び資料・議事録の作成など

必要経歴：医事業務の経験等があることが望ましいが、未経験者でも可。パソコンスキル(エクセル・ワード)

賃金：日給5,350~6,580円、他に賞与あり(院内保育所：空きがある場合は利用可)

勤務時間：原則9:00~16:00(週29時間勤務)

多くの女性スタッフが活躍中！  
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 黒澤  
☎0296-77-1121(内線2024)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>